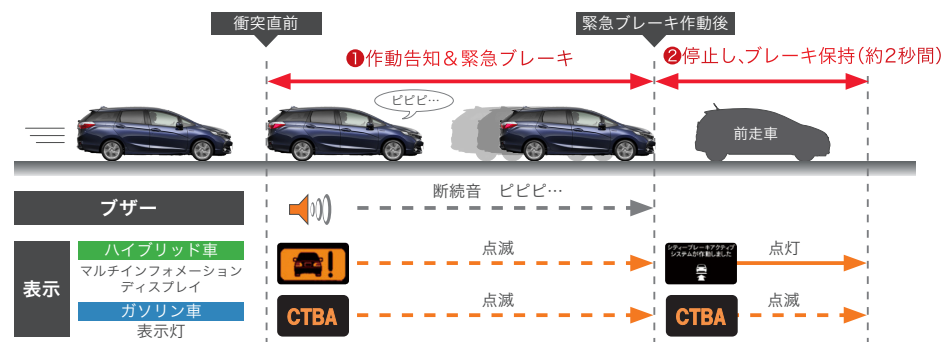


シティブレーキアクティブシステム(低速域衝突軽減ブレーキ+誤発進抑制機能)

フロントウインドウに設置したレーザーセンサーにより、前方の障害物を検知。30km/h以下で走行中に、追突の恐れがあるにも関わらずブレーキ操作が行われなかった場合、音と表示による警報と同時にブレーキをかけ、追突の回避または被害軽減を図ります。さらに、停車または10km/h以下で走行中、前方に障害物があるにも関わらずアクセルペダルを踏み込んだ場合は、音と表示による警報とともにパワーシステム出力(ハイブリッド車)またはエンジン出力(ガソリン車)を抑制する誤発進抑制機能も備えます。

低速域衝突軽減ブレーキ 作動イメージ



前席用i-サイドエアバッグシステム+サイドカーテンエアバッグシステム

前席用i-サイドエアバッグシステム<容量変化タイプ>は、迅速に展開する高圧部と乗員に接する低圧部の二重構造とすることで乗員への加害性を低減。サイドカーテンエアバッグシステムは、大人から子どもまでさまざまな体格の乗員の頭部や頸部を広範囲にカバー。2種のエアバッグで側面衝突時の乗員保護性能を高めます。



高い安心をもたらす先進技術をセットにした「あんしんパッケージ」タイプ別設定

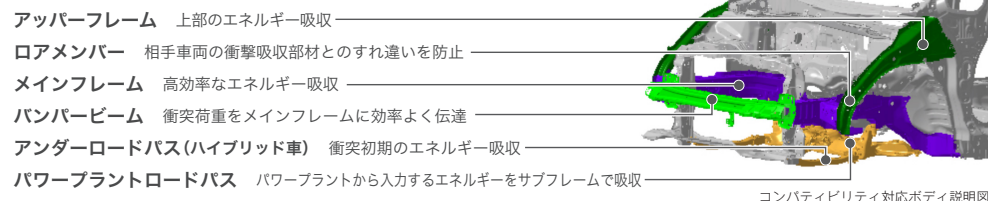
あんしん
パッケージ

- シティブレーキアクティブシステム
- 前席用i-サイドエアバッグシステム
- サイドカーテンエアバッグシステム

相手車両の安全まで視野に入れた衝突安全設計ボディ

G-CON
G-FORCE CONTROL TECHNOLOGY

Honda独自のGコントロール技術により、「自己保護性能の向上」と「相手車両への攻撃性低減」を両立するコンパティビリティ対応ボディを採用。前面衝突時に広い面で衝撃を受け止めるとともに、大断面フロアフレームをストレートに配置した高効率フロアロードパス構造によって、衝突エネルギーを効率よく分散、吸収します。



コンパティビリティ対応ボディ説明図

衝撃吸収構造による、歩行者傷害軽減ボディ

万の際、歩行者にダメージを与えやすいボディ前部に衝撃をやわらげる構造を採用。ボンネットヒンジ部、フロントウインドウ支持部、ワイパー、ボンネット、バンパー、フェンダーを衝撃吸収構造としています。

ボンネットヒンジ部衝撃吸収構造

ボンネットの取り付けヒンジ部を変形しやすい構造とし、衝突時の衝撃を吸収。

フロントウインドウ支持部衝撃吸収構造

フロントウインドウ下側の支持部を変形しやすい構造とし、衝突時の衝撃を吸収。

衝撃吸収ボンネット エンジンなどとボンネットの間に空間を確保し、衝突時の衝撃を吸収。

衝撃吸収バンパー バンパーを変形しやすい構造とし、衝突時の衝撃を吸収。

衝撃吸収フェンダー フェンダー取り付け部を変形しやすい構造とし、衝突時の衝撃を吸収。



歩行者傷害軽減ボディ説明図